

私たちの職場

がん診断に 特化した 病理診断科

病理診断科 係長 田近 洋介

病理診断科では、富山大学附属病院より、病理専門医の派遣を受け、臨床検査技師3名で、病理診断を行っています。現在、国民の3人に1人が、がんにより命を落としています。がんの治療には病理診断が不可欠であり、当科では生検や手術材料の組織診断や細胞診などの病理診断、さらに院内での免疫染色や遺伝子検索性病理標本作製などのコンパニオン診断にも対応し、高度な病理診断・検査の提供を心掛けています。また、認定資格の取得を推奨しており、臨床検査技師の上級資格である細胞検査士国内認定はもと



より、国際細胞検査士、認定病理検査技師資格などの取得者が在籍し、学会の施設認定も受けています。これら認定を始め学会発表や研修会参加を通して、日々研鑽に励み高度な医療に対応し、提供する事で病理診断科一同、さらに地域医療に貢献していきたいと思ひます。

手術室 麻酔科 滅菌室

看護師長 沢田 朋子

当院の手術室は、常勤麻酔科医2名、看護師17名、看護補助者1名で手術業務にあたっています。平成29年5月より常勤麻酔科医が1名から2名に増員となり、緊急手術にも、より迅速に対応出来るようになりました。手術室は全部で4室あり、うち1室がクリーンルームになっています。そこでは主に整形外科の人工関節手術や脳神経外科の開頭手術を行っています。また当院の手術室には、血管撮影室が1室併設されており、心臓カテーテル検査や脳血管撮影検査、血管内手術を行っています。当院は、24時間365日脳卒中ホットライン、循環器ホッ



トラインの受け入れを行っているため、常に緊急手術に対応出来るよう体制を整えています。病院の理念「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を基に、患者さんに安全な手術が提供出来るよう、スタッフ一同日々研鑽していきたいと思ひます。